

# 教育機関等への義肢装具啓発プログラム 令和6年度 東久留米市立下里中学校 開催報告

vol. 7  
2025.3

開催日 2025年3月8日(土)

2025年3月8日(土)に東久留米市立下里中学校にて、中学1年生3クラス98名を対象に開催いたしました。今回は下里中学校から当協会ホームページを通じて依頼があり開催となりました。

当日は、2限目に義肢装具士による講義「障がいの理解と義肢装具士の仕事」、3グループに分かれ「採型デモンストレーション」、「体験義足」、「義肢装具展示品閲覧」の3ブースをそれぞれ回って体験する授業を行いました。3限目には義足ユーザーによる講義と日常動作&スポーツ(バドミントン)のパフォーマンスを行いました。

今回は、講師に国立障害者リハビリテーションセンター義肢装具士の星野 元訓氏を、義足ユーザーに自身も義肢装具士である三浦祐助氏をお招きし、スタッフは(公社)日本義肢装具士協会東日本支部から 障がい者、パラアスリート及び義肢装具士の啓発に関するWG委員3名を含む合計6名で対応しました。それぞれのプログラムについて解説いたします。

なお、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、中学校では特に予防対策の実施指定は無かったが、当協会としてスタッフの「検温」・「手指の消毒」・「マスクの装着」の実施下で開催しました。

## 2限目:義肢装具士による講義と体験授業(採型デモ、体験義足、展示品閲覧)

### 講義

#### ～障がいの理解と義肢装具士の仕事～

義肢装具士の星野氏による講義「障がいの理解と義肢装具士の仕事」を行いました。

障がいについての概要、義肢装具の説明や義肢装具士の仕事に関して多くの写真や動画を用いて細かく説明していただき、怪我や病気と障がいとの違い、義肢装具士が具体的にどのように働いているのかなど、生徒に理解していただけたと思います。



講演の様子

## 足の採型デモンストレーション



足の採型の様子

合計3名の生徒に対し、壇上にて下肢の採型を行いました。体験生徒数に限りがあり、またステージ上で採型を行ったため、フロアにいる生徒達が理解しやすくなるよう、手元をタブレットでスクリーンに映し出し、説明をしながら行いました。

興味を持ってくれる生徒が多く、終了後には記念に陰性モデルをプレゼントしました。

## 体験義足

体育館の中央にて行った。生徒にケガを負わせないように、教員またはスタッフがフォロー役として付きました。義足の固定様式(バンド部分)の改良を行い効率が上がったため、これまでの体験授業よりも多くの生徒に体験していただきました。体験義足の着脱時には、義足ユーザーの三浦氏が周囲で見ている生徒に自身の歩行の様子などを見せていただきました。アクシデント無く無事に終了しました。



体験義足の様子

## 義肢装具展示



義肢装具展示の様子

体育館後方スペースに3つのテーブルを用意し、義肢装具を展示しました。今回、各テーブルにスタッフ1名を配置し、最初に展示品の概要や注意事項の説明を行った後に展示品に触れていたとき、生徒からの質問にも随時答えました。

特に生徒が興味を持った展示品は、義肢(義足、義手)でした。事前説明の甲斐もあり、怪我をすることもなく無事に終了しました。

## 3限目:義足ユーザーによる講義とパフォーマンス

### 義足ユーザーによる講義

自身が義肢装具士である大腿義足ユーザーの三浦 祐助氏と義肢装具士の星野氏による一問一答式の講義をしていただきました。三浦氏には生い立ちや切断後の立ち直り、障害者の心理や日常生活の様子など、多くの質問に回答いただきました。また、写真や動画の資料を活用しつつ、分かりやすい言葉を選んだ講義だったため、生徒さん達はとても理解しやすかったと思います。



講義の様子

## 義足ユーザーによる、日常生活動作とスポーツパフォーマンス

三浦氏はバドミントンやスキーなどをする活動度の高い義肢ユーザーで、日常生活動作やバドミントンを通じて、大腿義足ユーザーならではのパフォーマンスをしていただきました。星野氏の司会の下、日常生活動作では椅子からの立ち座りや歩行、階段昇降などを見せていただき、スポーツパフォーマンスでは、バドミントン部の生徒とラリーをしていただきました。大腿義足ユーザーとして、苦手な動作や動作のコツなどの説明をしながら上手にラリーが行われ、ラリー中は生徒たちからの歓声もあがり、とても楽しい雰囲気でお終えることが出来ました。



日常生活動作のパフォーマンスの様子



バドミントンのパフォーマンスの様子

## イベントを終えて...

土曜日に開催された今回のイベントでは、平日開催よりも多いスタッフの方々に協力いただき、2時間という少し短い時間でしたが、生徒さん達にとってより充実したイベントになったと思います。また、学校公開日であったため保護者の方々に観覧していただけたことも良かったと思いました。義肢装具や障がいがある方と実際に見て触れることが大切であり、このような機会は貴重だと思いますので、今後も多くの教育機関で体験イベントが開催できればと思います。生徒さんから頂いた感想からもイベントがとても有意義であったと感じることができました。

最後に、イベントに協力いただいたスタッフや学校職員の方々には、この場を借りて感謝申し上げます。

## アンケート(生徒の記述感想) ※一部抜粋

- ・体験しなければ分からなかった事を知れたので良かったです。  
義肢装具展示では、使用目的でたくさんの種類があって面白かったです。
- ・あまり義肢について知らなかったけれど、今日の話聞き一気に理解が深まったと思いました。また機会があれば調べてみたいです。
- ・義足を付けていても、スポーツをできたり、ふつうに生活できるのがすごいと思いました。
- ・義肢装具士についてあまり知らなかったのが今回の学ぶ会でたくさん知ることが出来て良かったです。
- ・実物を見たのは初めてで、楽しかった。また、今回の授業で、義肢装具士や義肢装具についての理解が深まった。

## アンケート(生徒の記述感想:続き) ※一部抜粋

- ・義足体験でうまいと褒められてうれしかった
- ・義足などについてそこまで知らなかったのですが、今回の講義でとても理解が深まり、興味を持ちました。
- ・この体験を通して障害を持っている人たちに少し興味を持てたし、大変さを少しわかった気がしました。また不自由なところがないことのありがたみもわかりました
- ・義肢装具はいろいろな種類があることが分かった。そして、障害についての理解が深まりました。
- ・実際にバドミントンをやっている、義足なのにすごいなと思いました。型取りをしているところを初めて見て興味が湧きました。
- ・義足体験して、体験する前は簡単かと思っていたけど、体験してみて体重かけることが、とても難しかったです。まだ、少ししか義肢装具士について知れていないので、これからも調べてみたいと思いました。
- ・とても楽しい時間を過ごすことができました。特に型取りが楽しかったです。
- ・あまり義肢装具について知らなかったけれど今回の話でとても理解が深まりました。
- ・義足は、作ったりするのは大変なんだなと思いました。義足を作るのに作った人の思いが込められていることに知れました。
- ・義肢装具士についてたくさん知ることができました。義足にもたくさんの種類があることが知れました。ありがとうございました。
- ・三浦さんは軽々歩いたりしているけど本当はすごく難しいんだろうなと思いました。作る時も作った後もたくさんのメンテナンスが必要で大変そうだなと思いました。
- ・義肢装具をつけてる人の日常生活の大変さをよく知ることができたと思うのでその障害を持ってしまった人への対応などもしっかりやっていければなと思います。
- ・義肢ユーザーさんの足を切断してもなお新しいことに挑戦する姿勢に感動しました！素敵な体験をありがとうございました。
- ・元々義肢装具士という仕事は知らなかったけれど、今回の講義を聞いて義肢装具士の仕事や、義肢を利用する人への気遣いなどが分かりました！それに、実際に使っている人の話を聞いて、切断後は4~5ヶ月かかること、階段の上り下り、座ったり立つことが難しいことがわかりました！いろいろな体験ができて楽しく学びました！
- ・今までは、自分には関係ないと思っていたけれどこの体験などを通して、自分も周りの人が義足をつけていたら、できることはなんだろうと考えることができました。
- ・三浦さんがとてもすごいなと思った。ああして足を切断してからバドミントンを始める義肢装具をつけてプレイ出来るのがすごいと思った。
- ・義肢装具にどのような種類があるのか、義肢装具はどのような人がつけるのかが分かった。義肢ユーザーの方の話もためになり、とても良い経験になった。